

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Yくまーず未来Sopra		2025年 10月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・人数に応じて昼食時は机を向かい合わせにするなどスペース確保に努めています。 ・人数に応じて、活動や自由遊びを2チームに分けるなどし、スペースの使い方を変えています。	・利用者が10名になってしまうとスペースの確保が難しい ・利用者が10名前後になると空間が手狭に感じることがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃、整理整頓を心掛けています。 ・月に1度の環境整備を行っています。毎月行っていることで善段目につきにくい細かな箇所まで整えることができます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		・様々な場所を使いながらやり取りを行っているが、完全に個別で過ごしたりやり取りする場所はないので必要だと感じる
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎月の職員会議や毎日の終礼で職員の意見を出し合い、共有することができています。 ・月末に職員会議を行い意見を出し合う機会を設けています。 ・月末の職員会議はなるべく全員が参加できるように調整をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・外部評価を得た方がより向上されると思う
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・定期的に社内研修が開催されています。 ・研修参加の機会が増え、研修を受けた者からの伝達研修を行うことで知識を深めています。 ・研修案内の掲示、必要に応じて声掛けもおこなわれているので、意識しやすく、また研修を受講できるようにスケジュール調整も工夫がなされています。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページに公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・支援会議で共有・検討を行っていたり、毎月の指導案に個々の月目標を抜き出し記載していることで意識して支援を行うことができます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・共有会議があり、支援内容を全員で確認しています。 ・各職員が年度、支援計画を確認することもできるようになっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・療育スタッフ中心の活動ミーティングを毎月実施し、意見を出し合い相談しあいながら活動プログラムを計画し進めることができます。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・療育スタッフ中心の活動「レイン」を開催し、職員同士でアドバイスを出し合いながら固定化しないよう意識して作成しています。 ・大項目として「園外活動」「ルールのある遊び」「身体活動」「製作活動」「防災・安全の日」をバランス良く取り入れることで固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎日指導案を作成し、それを元に1日の確認を行っています ・朝礼の際に、1日の流れを詳しく打ち合わせしています。送迎などで参加できない職員には個別で伝達して対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・必ず打ち合わせをおこなっており、終礼記録でも共有される為、参加できない職員も翌朝確認し共有できるようにしています。 ・終礼で情報共有、参加できない職員は、予め終礼記録に記入することで、全職員が共有できるようにしています。	・出勤時間が異なる職員がいるため、業務後全職員での打ち合わせは難しい状況にある ・出勤時間が異なる為、全職員での支援の振り返りはできていないと感じる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			・もう少し情報共有がまめになると良いと感じる
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	・公営保育があれば、代表者が参加することができています。	・助言を受ける機会があればなお良いと思う ・連携する機会があってもよいと感じる
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・そのような交流ができればなお良いと思う ・利用児の大多数は保育所やこども園と並行通園をしているが、事業所として地域の保育園訪問など行き交流をする時間があっても良いのかなと感じる
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡簿や送迎で顔を合わせた際に保護者と情報共有を行っています。また、伺ってきた情報は終礼で共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・家族支援を必要とするご家庭が増えてきているので、職員自身も勉強していく必要性を感じる。 ・喜泉りのイベントで保護者を呼び込みにケーションをとる機会があったが、「研修」という名では行ったことがないため視野に入れていきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・定期的なモニタリングの中でご相談を受けています。 ・日常では、送迎の際に保護者の方と顔を合わせることが多いため、その時に家庭の状況や様子を伺うようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・今年度は、8月にフェスティバル実施し、保護者同士の交流やきょうだい同士の交流を行いました。 ・今年は時間制にせず、大きな会場でイベントを行うことができました。その為、ほとんどのご家庭に参加していただき好評でした。	・ご家族やきょうだいが交流できる機会がもう1つ2つあってもよいかもしれない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・事業所通信や活動予定を月に1度発行し、お知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の保管については、鍵付きのロッカーを使用し退動時に必ず施錠を行い、鍵の保管にも十分気を付けています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・今年度はイベントへの招待など視野に入れたが場所や規模的な問題で叶わなかった。 ・検討すべきことも沢山あるため慎重に考えていく必要があると思うが、規則に従いつつ招待できたらと思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルもとてもわかりやすく、訓練もおこなっているため、日々意識して過ごすることができています。	・感染症については、受け入れ可否の具体的なガイドラインを保護者向けに作成し周知する必要があると感じる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・計画に沿って実際に避難所まで歩くなど、災害訓練を定期的におこなっています。 ・利用児童や職員配置、訓練内容を要えることで様々な状況を想定して取り組んでいます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			・予防接種は確認していない
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・医師の指示書が出ている食物アレルギーのあるお子様はいませんが、保護者への聞き取りの中で共有すべきことがある事例については、食品を扱うキッチンに掲示し常に確認できるようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全計画に沿って、研修や訓練、点検を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・二次避難場所の周知やメーリングリストの訓練をおこないました。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットがあった際には、記録を作成し、再発防止に向けた方策を検討しています。 ・事故が発生した場合には、当日に内容を周知しています。 ・職員会議でも記録とともに共有することで意識を高めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・社内外の虐待防止研修に全職員が参加することで、支援についてや虐待にあたる行為について考える時間を設けています。 ・虐待防止研修を受けたり、日々の支援の中で危険だと思われることについて職員間で話し合いを行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・個別支援計画に記載して説明をさせていただいております。	